



◆ 公益財団法人日本心臓財団 ◆

〒 163-0704 東京都新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル 4 階
○ Tel 03-5324-0810 ○ Fax 03-5324-0822
○ e-mail : info@jhf.or.jp ○ URL : http://www.jhf.or.jp

平成25年12月10日(火)
通巻213号

第 11 回日本心臓財団・アステラス・ファイザー 「動脈硬化 Update」 研究助成対象研究者決定

日本心臓財団では、アステラス製薬株式会社、ファイザー株式会社の協力を得て、動脈硬化研究の一層の進展と少壮研究者の育成に努めるため、動脈硬化領域における研究を行う 40 歳未満の研究者に対する助成を実施しています。今回第 11 回の本事業に 50 名の応募があり、次の 5 名が助成対象者に決定しました。9 月 7 日に開催された研究発表会で 5 題のうち上位 3 題の発表があり、それをもとに最優秀研究 1 題、優秀研究 2 題が選考され、残り 2 題が奨励研究に決定しました。

選考委員 (五十音順・敬称略)

委員長	横出 正之	京都大学医学部附属病院臨床研究総合センター 早期臨床試験部教授
委員	秋下 雅弘	東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座教授
	石橋 俊	自治医科大学内分秘代謝学部門教授
	上田真喜子	大阪市立大学大学院医学研究科病理病態学教授
	酒井 寿郎	大阪大学先端科学技術研究センター教授
	堀内 久徳	東北大学加齢医学研究所基礎加齢研究分野教授
	山下 静也	大阪大学医学部附属病院循環器内科病院教授
	横手幸太郎	千葉大学大学院医学研究院細胞治療内科学教授



助成対象研究者

(順不同・敬称略・金額単位：万円)

氏名	所属	金額
 松井 弘樹 (35 歳) 群馬大学大学院保健学研究科生体情報検査科学 助教		200
最優秀研究：血管平滑筋細胞の脂肪酸代謝に着目した新規動脈硬化予防・治療戦略の開発		
遊離脂肪酸は各組織における重要なエネルギー源である反面、肥満や糖尿病患者で見られる高遊離脂肪酸血症は種々の器官において様々な細胞機能障害を引き起こし、動脈硬化症の発症にも密接に関与することが報告されております。我々は、体内における脂肪酸の「量的」変化のみならず、組成などの「質的」変化が血管平滑筋細胞の代謝・増殖に関連し、動脈硬化症の病態形成に重要であることを見出しました。本研究では、その脂肪酸組成を調節する酵素の発現動態や機能を解析し、血管平滑筋細胞の代謝改善に着目した新規動脈硬化予防・治療戦略の開発を目指します。		
 青山 典生 (31 歳) 東京医科歯科大学歯学部附属病院歯周病学 医員		100
優秀研究：心血管疾患患者における歯周病原細菌罹患状態の解析		
最近の研究報告から、歯周病が心血管疾患の発症や進行に影響する可能性があることがわかってきた。しかし、歯周病が心血管疾患のリスクを上昇させるかについての詳細は、世界的にも未知の部分が多い。そこで本研究では、多数の心血管疾患罹患患者の歯周病の状態を詳細に解析することで、歯周病が心血管疾患に与える影響の理解を目指している。本研究の成果として、歯周病治療により心血管疾患の予防につながることを期待している。		

氏名	所属	金額
 永島 秀一 (37歳) 自治医科大学内科学講座内分泌代謝学部門 助教		100
優秀研究：マクロファージ特異的コレステロール合成欠損マウスにおける動脈硬化及び摂食抑制機序の解明		
スタチンの標的酵素である HMG-CoA 還元酵素 (HMGCR) の生体局所での作用を明らかにするため、本研究では初期動脈硬化巣形成に関わるマクロファージ特異的な HMGCR 欠損マウスを作製し解析を行います。現時点では、マクロファージ局所の HMGCR 阻害であっても十分に動脈硬化を抑制し、さらに動脈硬化以外の様々な生体反応の変化を捉えています。本助成により学術的に非常に意義のある成果を社会に発信させていきたいと考えております。		
 小山 晃英 (29歳) 国際医療福祉大学福岡保健医療学部医学検査学科 助教		30
奨励研究：血管内皮細胞のアドレノメデュリン-RAMP 2システム制御による動脈硬化症治療法の開発		
我々は、内因性生理活性ペプチドであるアドレノメデュリンが、受容体調節タンパク RAMP2 によって制御されていることを明らかとしました。さらに、血管内皮細胞の RAMP2 を欠損すると、血管の老化が亢進し、最終的には全身の臓器不全を引き起こすことを示しました。本研究は、血管内皮細胞のアドレノメデュリン-RAMP2 システムを制御することにより、新規の動脈硬化治療法の開発を目指します。		
 高橋 郁乃 (36歳) 放射線影響研究所臨床研究部 研究員		30
奨励研究：禁煙による動脈硬化性疾患予防効果は禁煙後の体重変化の影響を上回るか - 30年後の縦断調査に基づく検討 -		
近年日本において、心臓や脳の動脈硬化性疾患による死亡が三分の一を占め、疾患予防が今後も重要課題である。喫煙は動脈硬化性疾患の危険因子であることが広く知られ、近年喫煙率が低下したが、禁煙後の体重増加がかえって動脈硬化性疾患にとって悪影響となる懸念がある。この問題を解決するエビデンスはほぼ皆無である。そこで我々は、禁煙後に体重が増加した場合に動脈硬化性疾患が発生する危険性について、放射線影響研究所で半世紀以上にわたって追跡中の成人健康調査集団で実施された喫煙調査(1978年)とその後の30年以上の観察データを解析し、禁煙による体重増加は、禁煙による動脈硬化性疾患予防効果を損なうことがないか、検証する。		

募集のお知らせ

第3回日本心臓財団・日循協・アストラゼネカ臨床疫学研究助成

日本心臓財団と日本循環器管理研究協議会(日循協)では、アストラゼネカ株式会社の協力を得て、循環器疾患の予防に関する臨床疫学研究助成を実施しています。

日循協では、助成対象者に対し必要に応じて研究アドバイザーを配置して、研究を支援します。

応募期間：平成25年12月1日～平成26年1月10日

- 1) 対象分野：循環器疾患に対する一次～三次予防のいずれかを目的とした臨床疫学研究分野
 - 2) 対象者：医師・保健師・看護師・管理栄養士・栄養士・薬剤師等医療関係に携わる者
 - 3) 対象となる研究：今後、応募者が主体となって調査・研究を行う臨床疫学研究であること
 - 4) 助成金額および件数：総額1,500万円。研究期間は3年以内で1件最大500万円とし、数件
- ※応募資格、応募方法など詳しくは日本心臓財団ホームページの募集要項を参照のこと

第10回日本心臓財団・ノバルティス循環器分子細胞研究助成

日本心臓財団では、ノバルティスファーマ株式会社の協力を得て、循環器領域疾患の発症機序および治療について分子細胞生物学的研究を行う研究者に対して助成を実施しています。

応募期間：平成25年12月1日～平成25年1月31日

- 1) 助成対象：循環器領域における分子細胞生物学的研究の進歩に著しい貢献が期待される研究者。
基礎あるいは臨床の別は問わない。
 - 2) 助成金額および件数：1件あたり100万円を10件
- ※応募資格、応募方法など詳しくは日本心臓財団ホームページの募集要項を参照のこと



野菜 1日 350g を取るようにしましょう！

冬野菜たっぷり豆乳スープ

日本心臓財団では、心臓病・脳卒中予防のために、野菜を1日350g取るように、さまざまな形でキャンペーンを行っていく予定です。

野菜1日350g以上は、厚生労働省が推進する健康日本21で掲げた成人の目標値です。生活習慣病予防のために効果的な栄養素を摂るためには、野菜をたくさん食べることが望ましいとされています。

今回は、その手助けになり、寒い冬に身体が暖くなる「冬野菜たっぷり豆乳スープ」を紹介します。もちろんこれだけでは350gになりませんが、季節の野菜を味わいながら、手軽に美味しく野菜を取れるメニューとして、ご活用いただけますと幸いです。

冬野菜のかぼちゃやにんじんにはベータカロチン(ビタミンA)、だいこんにはビタミンCが多く含まれていて、動脈硬化を予防する抗酸化作用があります。ほうれんそうには葉酸が多く含まれていて、虚血性心疾患の危険因子であるホモシステインを抑える働きがあります。

そのほか野菜には、腸管運動を高め、腸内物質の排泄を促し、便通をよくする繊維や、ビタミンC、カルシウム、カリウムも豊富です。野菜を豊富に取ることで、これからの季節、風邪を引きにくくする免疫力も高まります。

さらに、野菜を先に食べるとインスリンが分泌されやすくなります。野菜は糖分の吸収を遅くするのですが、それとともに、インスリンが出やすくなるので、その後の血糖の上昇はゆっくりしたものになるのです。



冬野菜たっぷり豆乳スープの作り方

【材料(2人分)】

かぼちゃ	100g ☆	バター	少々
たまねぎ	100g	塩・コショウ	少々
にんじん	50g ☆	コンソメ	固形のもの 1個
じゃがいも	50g	豆乳	200cc
だいこん	50g ☆	水	200cc
ほうれんそう	50g ☆		
白菜	50g ☆		
大豆水煮	30g		
押し麦	5g		

☆：冬野菜

【作り方】

- ① かぼちゃ、にんじん、たまねぎ、じゃがいも、だいこんは1cm角のサイコロに切る。
- ② ほうれんそう、白菜は2~3cmの幅でざく切りにする。
- ③ ①の材料とバターを鍋に入れ、軽く火を通し、水とコンソメを加えて煮る。
- ④ ひと煮立ちしたら、火を弱め、②と水煮大豆、押し麦、豆乳を加える。
- ⑤ しばらく煮込み、煮立つ前に火を止め、塩コショウで味を整えたら出来上がり。

【ポイント】

- *冬野菜をたっぷり使ったスープです。牛乳ではなく、豆乳を使うことで脂質が気になる方にもオススメです。
- *大豆水煮と押し麦で、食物繊維を更にアップ！
- *お好みでベーコン、鶏肉、鮭、エビなどを加えると、たんぱく質源も一緒に取ることができます。

(メニュー作成協力：Hearty Action 濱田真里)



第18回日本心電学会学術奨励賞

平成25年10月11日～12日、リンクステーションホテル青森（青森）にて、第30回日本心電学会学術集会（会長：奥村謙弘前大学教授）が開催され、期間中日本心臓財団が後援する第18回日本心電学会学術奨励賞の贈呈が行われました。

これは日本心電学会の会員であり、心電学の進歩に寄与する顕著な研究を発表し、将来発展の期待される40歳未満の研究者に贈られるものです。受賞者は以下のとおりでした。

最優秀賞	中谷洋介（富山大学大学院医学薬学研究部内科学第二）
最優秀賞	石川泰輔（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科内臓機能生理学分野）
優秀賞	福井 暁（大分大学医学部循環器内科・臨床検査診断学）
優秀賞	武 寛（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科循環器内科学）

当財団へご寄附をいただいた方

次の方々からご寄附を賜りました。ここに厚く感謝申し上げます、ご芳名を掲載させていただきました。

（敬称略 2013年6月～11月）

青上 利仁様 阿部 圭志様 阿部 芳巳様
片倉 良作様 加藤 隆雄様 嶋田 裕様
前田 拓也様 増田 美佳様 吉田 雄俊様
株式会社東横イン様

匿名ご希望5名様

■小さなハートをつなぐ基金

有限会社 梶原工務店様

■セカンドオピニオン・ホームページ支援

木下 博敏様

当財団をご支援くださる方

賛助会員として本年度にご支援をいただいた方々のご芳名を掲載させていただきました。

（敬称略 2013年6月～11月）

新 博次様 石川 雄一様 石坂 信和様
岡川 英雄様 小川 俊一様 小野 稔様
河北 成一様 後藤 紘司様 佐藤 和子様
下川 宏明様 高田 重男様 高安 徹雄様
高柳 寛様 東條美奈子様 長田 太助様
中村 真潮様 西村 重敬様 野村 雅則様
橋本敬太郎様 羽田 勝征様 籾野 脩一様
東 あかね様 前村 浩二様 泰江 弘文様

山本 早苗様

匿名ご希望3名様

寄附のお願い

日本心臓財団は、循環器疾患を克服するため、研究助成、予防啓発、さらに循環器病に関する皆様からのメール相談などを行ってまいりました。今後もこのような活動を継続させていただけますよう、皆様からのご支援をお待ち申し上げております。何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

当財団は公益財団法人の認定を受けておりますので、当財団へのご寄附は税法上の優遇措置が適用され、所得税（個人）、法人税（法人）の控除が受けられます。

また、税額控除に係る証明を取得しておりますので、個人の方からのご寄附については所得控除と税額控除のいずれか一方を選択いただくことができます。

■三井住友銀行 丸ノ内支店
普通 0801474

■三菱東京UFJ銀行 丸の内支店
普通 4025878

■ゆうちょ銀行
一般振替口座 00140-3-173597
（ゆうちょ銀行〇一九（ゼロイチキュウ）店
当座 0173597）

口座名：公益財団法人 日本心臓財団
（株）ニホンシンゾウザイダン